

「名人」給与牛、共励会でも優秀な成績

去る一二月一日、平成一三年度全道和牛共励会(黒毛和種の部)が帯広市北海道畜産公社十勝事業所にて開催されました。合計一三三頭が出品されましたが、その中でも当社と茨城県畜連が共同開発した、和牛肥育用配合飼料「名人」を給与した牛が、優秀な成績をおさめましたので、その紹介をいたします。

表1に成績の概要を示しました。一三三頭中、名人の給与を確認した牛が四〇頭含まれ、それ以外の牛は九三頭でした。それらの枝肉重量を比較すると、平均で九kgほど名人給与牛が大きかったです。月齢、胸筋面積、ばら厚、皮下脂肪、BCS、NOでは大きな差は見られませんでしたが、BMS、NOでは名人給与牛が、それ以外の牛に比べて一・六ポイント高かったです。

また、四等級以上の割合(上物率)は全体で六六%で、これは昨年を八ポイントほど下回る結果となりました。それに対し、名人給与牛では八八%と昨年の八九%とほぼ同等でした。名人給与牛の上物率八八%は、それ以外の牛の五七%に比べて三二%ほど上回る成績となりました。

表1 平成13年度北海道枝肉共励会成績の概要

	頭数 (頭)	平均枝肉 重量(kg)	月齢 (月)	胸筋面積 (cm ²)	ばら (cm)	皮下脂肪 (cm)	BMS. NO	BCS. NO	単価 (円/kg)	枝肉単価 (円)	前年枝肉 単価(円)
全体の成績	133	458	30.0	58	8.0	2.6	6.4	4.0	1,174	544,251	880,220
「名人」給与牛の成績	40	465	30.2	60	8.1	2.5	7.5	3.9	1,345	630,778	961,135
その他の成績	93	456	30.0	58	8.0	2.6	5.9	4.0	1,100	507,035	818,942

その日に枝肉販売も行われましたが、前日に国内三例目のBSE感染牛が発見されたこともあり、枝肉価格の平均は前年より約四割安くなり、約五十四万円でした。名人給与牛の枝肉平均価格は約六三万円、それ以外の牛の約五一万円と比較して、約一二万円程高く販売されました。ちなみに一昨年その差は約一三万円、昨年は約一四万円の差でした。

ここで、名人に関する取り組みを簡単に紹介してきますと、前述したとおり、名人は当社と茨城県畜連の共同で開発に取り組み、平成五年頃から道内でも普及しております。顧客に対しては約二か月に一度、茨城県畜連の技術者に当社営業マンが同行して技術フォ

ローを行っています。そこで牛の状態を見て、飼養管理に関するアドバイスや市場動向等の情報提供を行っています。

名人は給与すれば良い枝肉が出来るという、魔法のエサではないので、個々の経営に合った飼料給与方法や飼養管理法を組み合わせることにより、良い肉質が得られ経営に貢献することができます。

最近ではおかげさまで、いろいろな経営に携わることができ、例えば、和牛の授精卵により素牛を生産していた酪農家が肥育に取り組むケース、和牛の繁殖農家が一貫経営に取り組むケースなどです。

今まで、和牛の肥育を経験したことのない酪農家が、はじめて肥育し出荷して、驚くような成績をあげた例もあります。

和牛の肥育に興味があるが、肥育のことはわからないというお客さんでも、お気軽に当社最寄りの営業所にご相談ください。

(道東事業部業務課 松本)

雪印種苗株式会社

編集発行人 菊地 庸

本社 062-8650 札幌市豊平区美園二条一丁目

TEL(011)831-1161

FAX(011)820-1258